

# 新しい言葉をアウトプットしよう！

今は、あらゆる人が自分の表現ができる時代。自分で何かを「つくって」「発信」できる、ケータイ電話やインターネットという表現の場がありますから、個人が新しい言葉をつくる担い手にもなりやすい。話し言葉はもちろん、「ギャル文字」(写真参照)なんかも、そういった表現の一つでしょう。新しい言葉は、

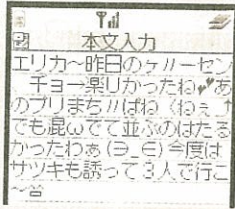


中村伊知哉(なかむら・いちや) ●慶應義塾大学教授  
ロックバンド『少年ナイフ』のディレクターとしても有名。

新しい「コミュニケーション」、新しい「ミニミニティー」をもつくっていると  
言えます。僕は、これはとてもいいことだと思っただけです。例えば  
「ひらがな」だって、平安時代に一部の女性たちが勝手に「つくりだした  
文字ですよ。当時の知識人に見れば、「漢字をぶっ壊して何  
やってんだー」という感じだったはず。それが今では日本独  
自の文字になっている。大人たちが心配しているのは、積み重ねてきた  
日本語文化が壊されるのではないかと「いつか」のことであって、何も新し  
い言葉が悪いと言っているわけではない。だから、これまでの日本語文  
化も大切にしながら、新しい言葉もどんどんつくってほしい。音  
楽でも映像でも言葉でも、何だってインプットするばかりでなく、自  
分からアウトプットする、何かをつくりだすことを勧めたいですね。

キミのつくった言

葉が、何十年後、  
何百年後かに、  
みんなが使うも  
のになっていたら  
面白いじゃない  
ですか？



これが「ギャル文字」。「ケ」→「ヶ  
//」、「チヨ」→「千ヨ」、  
「ん」→「ω」などが特徴だよ。



中村氏 著 !!

『日本のポップパワー』(日本経  
済新聞社)マンガやアニメ、ゲ  
ムなどの流行文化が経済や産  
業に与える影響を研究・分析!

受験 Challenge 国語 高1 2007年10月号(進研ゼミ)

受験 Challenge 国語 古漢文法 高1 2007年10月号(進研ゼミ)